

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	40340	第二市民会館活動費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
①		12	生涯学習の充実	根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則	一般	10	4	3	☒ 主な事業
②		23	生涯学習機会の充実	戦略事業	122 生涯学習施設活動費					☒ 国土強靱化地域計画
③				戦略事業	123 生涯学習講座の開催					☒ 新市建設計画
④										☐ 定住自立圏構想
⑤										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 55 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与するため、各種主催講座事業の実施及び市民の生涯学習活動の場として提供する。また、当施設の維持管理(旭市保健センター含む)・運営を行う。 ・使用料(時間単価) 第1講習室 500円、第2講習室 300円、第3講習室 300円、料理実習室 400円、軽運動場 600円
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
昭和55年に、旭市働く婦人の家として、女性労働者や労働者家庭の主婦の生活向上の増進を図ることを目的として、整備された施設であったが、働く婦人の家として一定の役割を果たしたものと考え、さらに広く全地域住民に利用してもらえる施設として社会教育施設に転用することとし、平成25年4月に教育委員会旭第二市民会館となる。	転用前の働く婦人の家は、成人女性を対象にした施設であったが、現在は、第二市民会館として全住民が対象となる社会教育施設になった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・利用しやすい施設になって良かったという意見あり。(施設利用対象者が成人女性から全住民対象となったため) ・軽運動場の床がきれいになって良かった意見あり。(平成25年度に耐震補強改修工事で軽運動場の床全面補修を実施)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.報償金	1,296	講座講師謝金
2.保険料	118	公民館総合保障制度加入
3.消耗品	73	講座用消耗品
4.手数料	26	ピアノ調律・クリーニング代
5.修繕料	20	ミシン点検修理
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1.報償金	千円	1,478	1,326	1,356	1,296	1,427
	2.保険料	千円	118	118	118	118	118
	3.消耗品	千円	74	75	74	73	75
	4.手数料	千円	25	26	26	26	27
	5.修繕料	千円	0	20	20	20	20
事業費計(A)		千円	1,695	1,565	1,594	1,533	1,667
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	1,695	1,565	1,594	1,533	1,667

前年度増減理由	主催講座開催回数等の減(開催場所の変更:フラ講座20回分を「いいおかユートピアセンター」へ)
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大	人	×	日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	---	---	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 主催講座事業(29講座) ・貸館業務(サークル・団体等 9時～21時)		ア 主催講座事業数	講座	29	26	26	29	29
			イ 自主事業数(自主グループ・サークル)	団体	21	21	22	22	22

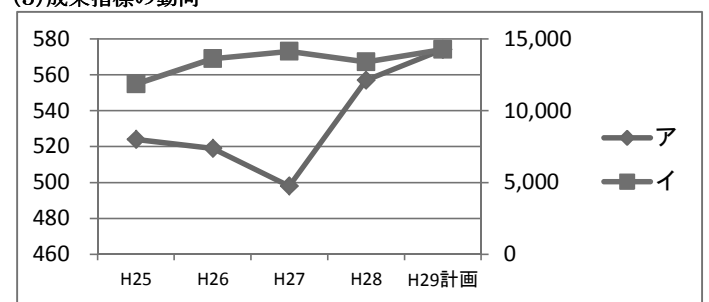
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 ・市内に住所又は事務所を有する者 意図 ・主催講座に参加受講し、知識・技術を習得し、教養を高め、生涯学習意識の向上を図る。・活動を通じて交流が図れ、新たな仲間作りへと繋がる。		ア 主催講座事業受講者数	人	524	519	498	557	574
	対象意図		イ 延べ利用者数	人	11,859	13,610	14,133	13,382	14,250

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地
施策貢献度	大きい	
	普通	⑤
	小さい	

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率
評価結果	①	下位 1/3
	②	中位 1/3
	③	上位 1/3
	④⑤	(4)
	⑥	
	⑦⑧	
	⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況		成果指標ア 成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)		・主催講座開催日程調整による日数の減少 ・利用者団体(サークル等)活動への出席率の低下
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期 10月～3月 内容 主催講座事業 ・はがき絵講座 ・ペン字講座
		今後の方向性 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☒ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
		・主催講座事業の充実及び自主サークル等への活動・交流の場の提供